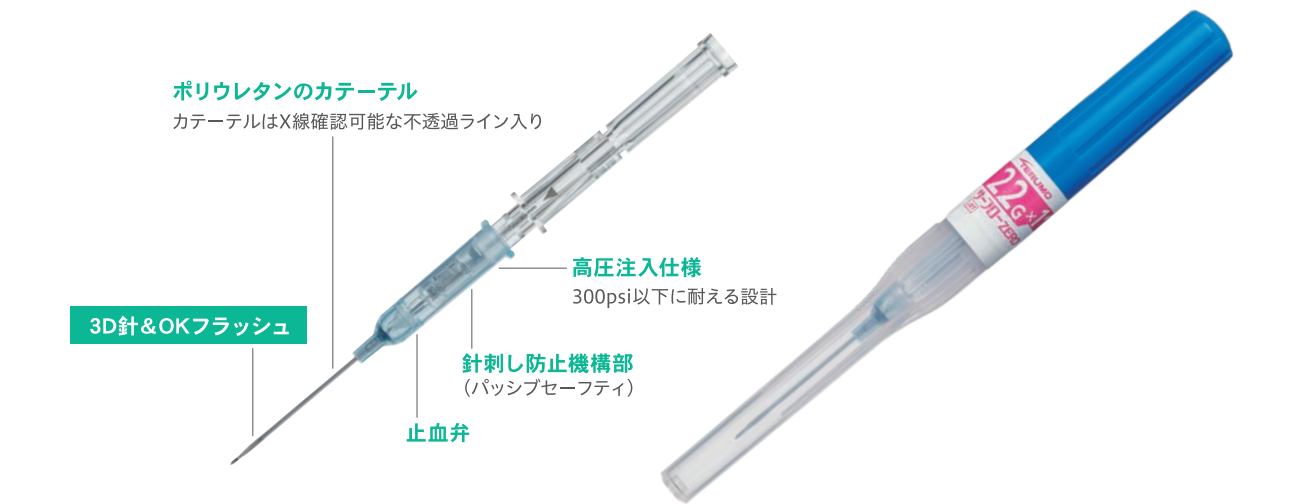


■ 構造図 (代表図)



■ 品種表

品名	コード番号	カテーテル			流量	内針 ゲージ	JAN
		ゲージ	長さ	外径 / 内径			
サーフロー-ZERO	SR-SVB1832	18	1 ¼" (32mm)	1.30mm / 0.95mm	100ml / min	20G	4987892128578
	SR-SVB2032	20	1 ¼" (32mm)	1.10mm / 0.80mm	60ml / min	22G	4987892128585
	SR-SVB2232	22	1 ¼" (32mm)	0.85mm / 0.60mm	30ml / min	24G	4987892128592
	SR-SVB2225		1" (25mm)		35ml / min		4987892128608
	SR-SVB2419	24	¾" (19mm)	0.67mm / 0.47mm	15ml / min	27G	4987892128615

包装単位:50本

一般的名称:プラスチックカニューレ型滅菌済み穿刺針 販売名:サーフロー-ZERO 医療機器認証番号:303AABZX00055000

■ 関連商品

ポータサウンドEveryなら、 いつでも、どこでも、どんな場面でもすぐに使えます。



超音波画像診断装置 ポータサウンドEvery™

ワイヤレスプローブ

+

iPad

安全確実な血管穿刺も多方面からサポート

- 小型＆軽量のポータブルエコー
- タブレット表示器に「iPad」を採用。
施設(個人)で使用されているiPadでも使用可能。
- エコー下穿刺の際に音声操作によって
画像調整が可能
- 確実な穿刺をサポート可能な
シブコ社製ニードルガイド(短軸・長軸)が装着可能



ニードルガイド使用時

記載されている社名、各種名称は、テルモ株式会社および各社の商標または登録商標です。iPadは、米国及び他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
一般的名称:汎用超音波画像診断装置 販売名:ポータサウンド
医療機器認証番号:第302AIBZX00008000号 特定保守管理医療機器

本製品の詳細は電子添文をご参照ください



テルモ株式会社 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 2-44-1 www.terumo.co.jp

記載されている社名、各種名称は、テルモ株式会社および各社の商標または登録商標です。
©テルモ株式会社 2024年3月
24T016-1LL10S22403

Quality time for better care

Quality time for better care は、医療に関わるすべての人々に
今よりも「質の高い時間」を創出することを目指す
Terumo Medical Care Solutions のブランドプロミスです。



HOSPITAL CARE

サーフロー-ZERO™



血管を捉えやすい、「3D 針」採用。



ゼロへ、挑む。

確実留置で医療従事者・患者の負担軽減を目指した留置針。

確実留置で医療従事者・患者の負担ゼロへ挑む留置針「サーフローZERO」。

難しい血管への穿刺、

穿刺失敗や再穿刺のストレス*…

医療従事者や患者のさまざまな悩みをゼロにしたい—

そんな想いで開発された「サーフローZERO」。

3D針とOKフラッシュ、ふたつの独自技術で

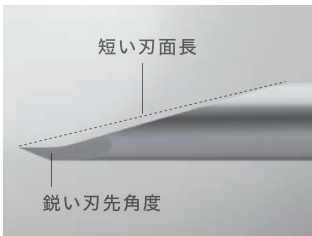
確実留置を目指します。

*参考資料:巻野雄介 他、日本健康学会誌 Jpn J Health&Human Ecology 2021;87(2):57-65



血管を捉えやすい、テルモ独自開発の「3D針」。

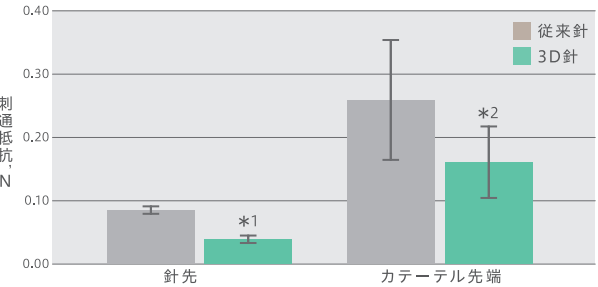
留置針に求められる「短い刃面長」でありながら「鋭い刃先角度」を実現しました。



イメージ図

< 刺通抵抗の軽減 >

< 刺通抵抗 (針先、カテーテル先端) の平均値, エラーバーは平均値±標準偏差 >



*1: p<0.01, *2: p<0.05, 従来針との比較

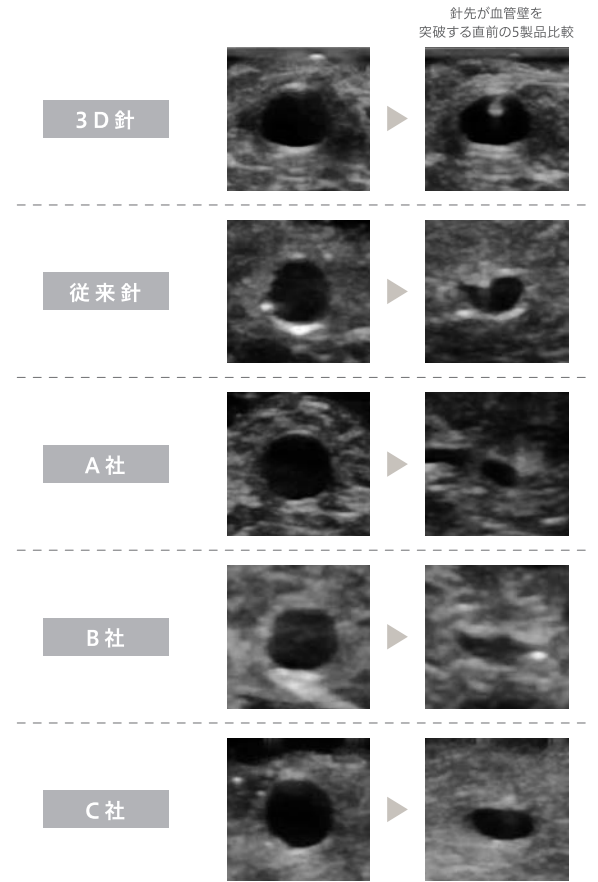
従来針に比べ、針先、カテーテル先端の刺通抵抗が有意に低い結果が得られました。(自社におけるポリエチレンフィルムのデータ)

< 穿刺成功率の向上 >

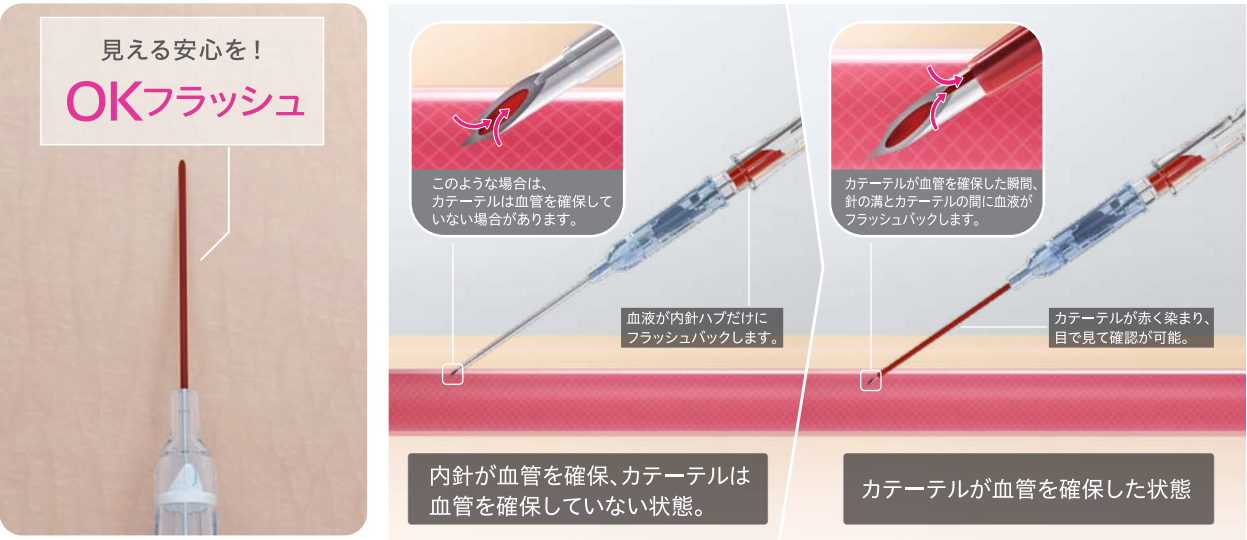
従来針に比べて穿刺部位が血管の中心からずれた場合でも穿刺成功率が高い結果が得られました。(自社における模擬血管のデータ)
 模擬血管(塩ビチューブ)の真ん中から0.5mmずらした位置に穿刺した場合、従来針に比べて成功率が向上しました。

< 穿刺時の血管変形が低減 >

従来針・競合品の留置針に比べて、血管の潰れ、逃げが小さい結果が得られました。(自社におけるex-vivo モデルのデータ)



血管確保のサインが「見える」、サーフロー独自の「OKフラッシュ」機構。



イメージ図

OKフラッシュでカテーテルの血管確保が見えるから、安心して操作可能です。

OKフラッシュは不要な内外針抜き差しによるカテーテル損傷リスクを低減します*。

*本品はカテーテルが血管に入った瞬間にカテーテルに逆流した血液を目視で確認でき、血管確保が明確に分かる構造(フラッシュバック機構)を有するため、内外針抜き差しが不要となります。

——— < 20G留置針の留置成功率の比較 > ———
 OKフラッシュにより留置成功率が有意に向上しました。

	成功	不成功
サーフロー留置針	66.7%(38)	33.3%(19)
OKフラッシュ付きサーフロー留置針	91.9%(57)	8.1%(5)

()内は人数 χ^2 検定により検定 p<0.01

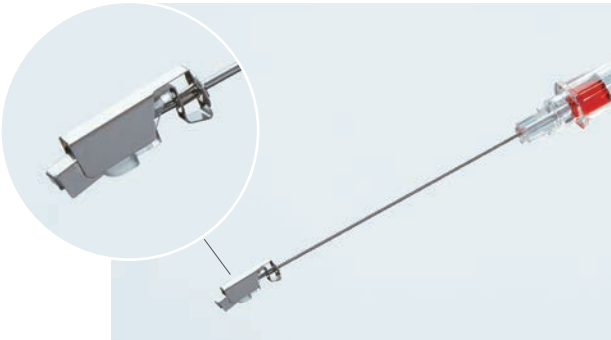
成功: 刺入後、カテーテルを静脈内に留置し、エクステンションチューブと輸液剤を接続した後、輸液剤を刺入部位より下方まで下げて血液の逆流を確認できたもの

杉田俊博 他: 奥羽大歯学誌 2001;28(1):27-31をもとにテルモ株式会社作成

誤操作・操作忘れを防ぐ、パッシブセーフティ機構。

カテーテルの血管確保を確認後、内針を抜くと自動で針先にセーフティーカバーが装着されます。手技者はもちろん、廃棄などを行う周りの人への針刺し防止、感染リスク低減に貢献します。

パッシブセーフティはアクティブセーフティに比べて針刺しリスクを低減します。



血液曝露リスクを低減する止血弁。

カテーテルハブからの逆血による血液曝露リスクを低減します。

